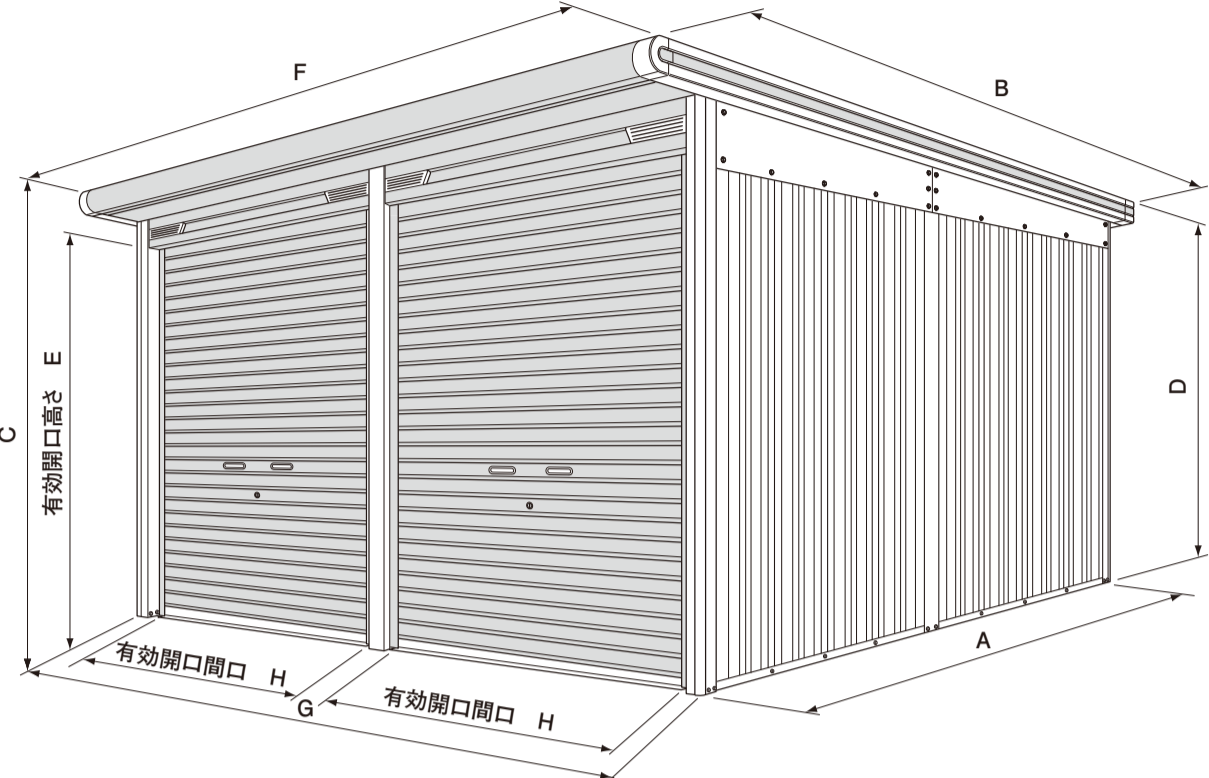


ヨドガレージ ラヴィージュ III (一般地型)組立説明書

- VGC-2652 (H) VGC-2655 (H) VGC-2659 (H) VGC-2662 (H)
- VGC-3052 (H) VGC-3055 (H) VGC-3059 (H) VGC-3062 (H)
- VGC-3352 (H) VGC-3355 (H) VGC-3359 (H) VGC-3362 (H)

この組立説明書は、ガレージを安全に組立てていただくために、重要な事項を記載しています。施工前に必ずお読みください。また、部品箱の中の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。本文は、2連棟タイプを基準にしていますが単棟タイプ、3連棟以上も手順は同様です。



寸法	奥行き(mm)		高さ()内はHタイプ(mm)		巾(mm)			
	A	B	C	D	E	F	G	H
VGC-1952	5,220	5,550	2,349 (2,589)	2,155.5 (2,395.5)				
VGC-1955	5,570.5	5,900.5	2,348.5 (2,589)	2,156.5 (2,396.5)	1,891.5 (2,131.5)	1,866.5Xn+165	1,866.5Xn+85	1,678.5
VGC-1959	5,921	6,251	2,348.5 (2,589)	2,156.5 (2,396.5)				
VGC-1962	6,271.5	6,601.5	2,348.5 (2,589)	2,156.5 (2,396.5)				
VGC-2652	5,220	5,550	2,349 (2,589)	2,155.5 (2,395.5)				
VGC-2655	5,570.5	5,900.5	2,348.5 (2,589)	2,156.5 (2,396.5)	1,891.5 (2,131.5)	2,567.5Xn+165	2,567.5Xn+85	2,379.5
VGC-2659	5,921	6,251	2,349 (2,589)	2,155.5 (2,395.5)				
VGC-2662	6,271.5	6,601.5	2,348.5 (2,589)	2,156.5 (2,396.5)				
VGC-3052	5,220	5,550	2,349 (2,589)	2,155.5 (2,395.5)				
VGC-3055	5,570.5	5,900.5	2,348.5 (2,589)	2,156.5 (2,396.5)	1,891.5 (2,131.5)	2,918Xn+165	2,918Xn+85	2,730
VGC-3059	5,921	6,251	2,349 (2,589)	2,155.5 (2,395.5)				
VGC-3062	6,271.5	6,601.5	2,348.5 (2,589)	2,156.5 (2,396.5)				
VGC-3352	5,220	5,550	2,349 (2,589)	2,155.5 (2,395.5)				
VGC-3355	5,570.5	5,900.5	2,348.5 (2,589)	2,156.5 (2,396.5)	1,891.5 (2,131.5)	3,268.5Xn+165	3,268.5Xn+85	3,080.5
VGC-3359	5,921	6,251	2,349 (2,589)	2,155.5 (2,395.5)				
VGC-3362	6,271.5	6,601.5	2,348.5 (2,589)	2,156.5 (2,396.5)				

n連棟数

設置場所の制限

- 注意** 大屋根からの雨水や、雪が直接ドトガレージの屋根に落ちる場所には設置しないでください。
- 注意** 崖のふち、風当りの強い場所等安全の確認できない場所には設置しないでください。
- 注意** 給湯器の前には設置しないでください。

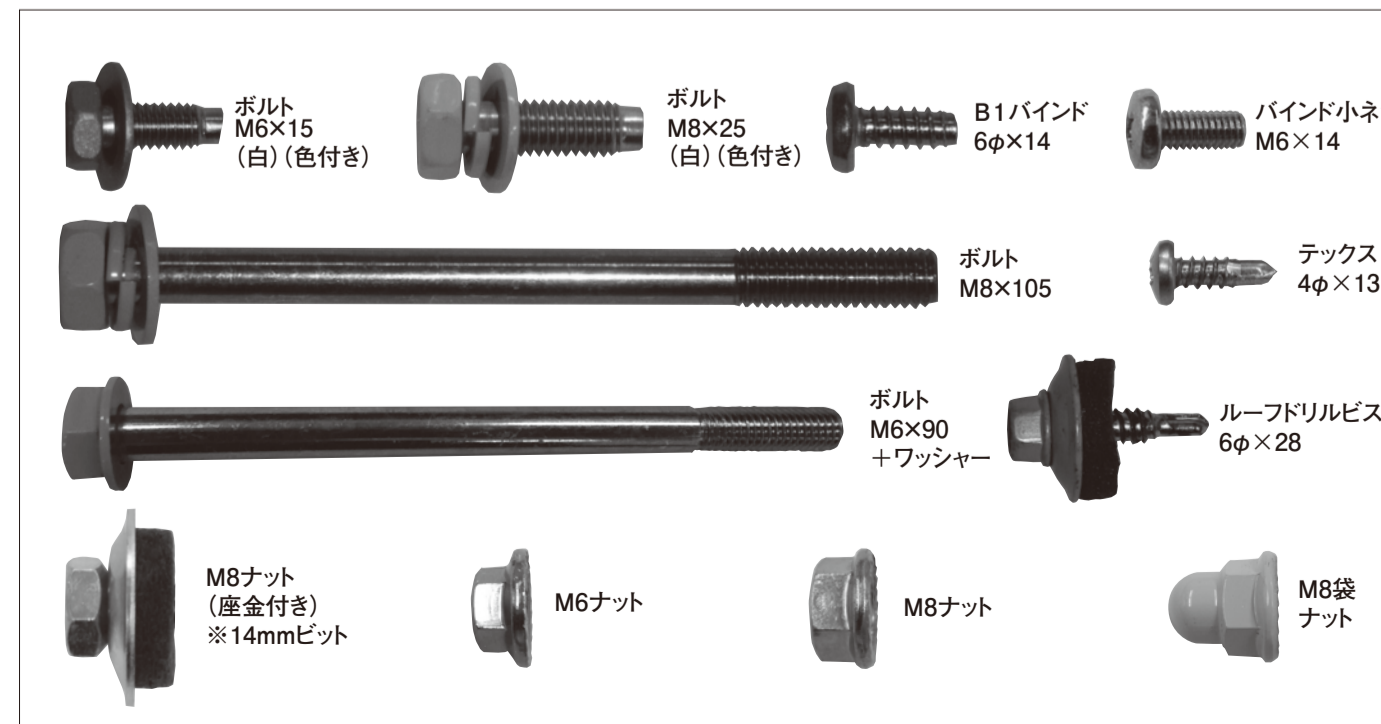
施工全般

- 注意** 施工の際は、次の点を必ず守ってください。
- 組み立ては専門業者に依頼ください。
- ブロックでの基礎は絶対におやめください。強度確保のため、鉄筋入りの布基礎としてください。
- 施工前に必ず布基礎の水平を確認してください。水平がでない、ガレージの建付けが悪くなります。
- 強風時や雨天時の組立ではおやめください。
- 高所での組立となりますので、足場板、安全帯などを使用して、作業時の安全には、十分注意してください。
- 重量物・長尺物は運搬・据付の際に複数人数で行い、振り回したり、落としたりしないよう、注意してください。
- 安全のため、手袋をして組立を行ってください。
- ボルトは口に入れなくてください。

屋根の施工

- 注意** 屋根に上がる場合は、転倒、転落等に十分注意してください。
- 注意** 屋根の重ね部を締結するまで、重ね部には絶対に乗らないでください。

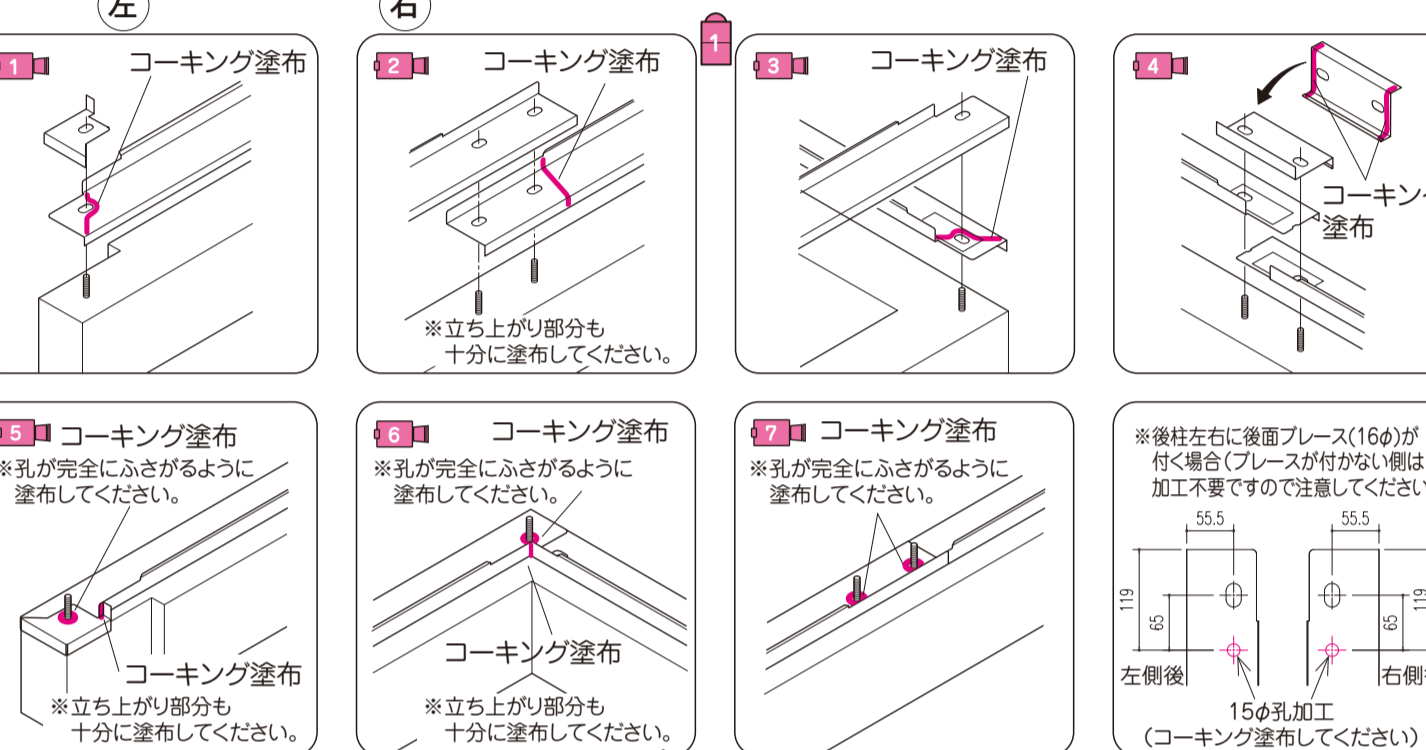
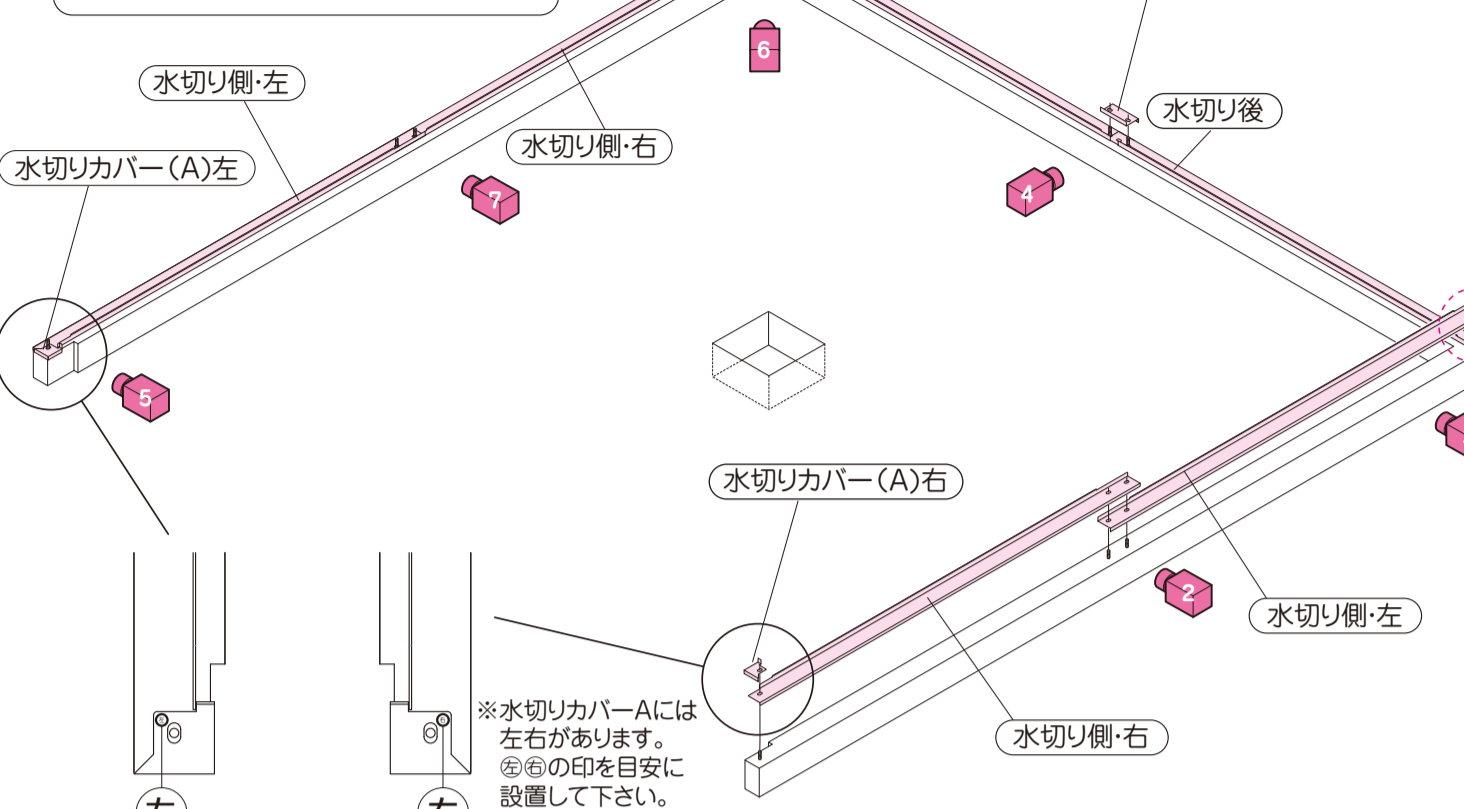
- 組立てに必要な特殊工具 ・口幅14mmビット(屋根固定用) ・口幅21mmビット(アンカーボルト固定用)
- 使用ビス一覧 ・3番手プラスビット(フレーム固定用) ・ベンチ(シャッターカシメ用)



1 水切りの設置

- ① 水切りを基礎に設置します。(水切り後)にはシールが貼ってありますので必要な孔部を切ってください。
- ② 水切りの重ね部、アンカーボルト周辺にコーキングを施します。

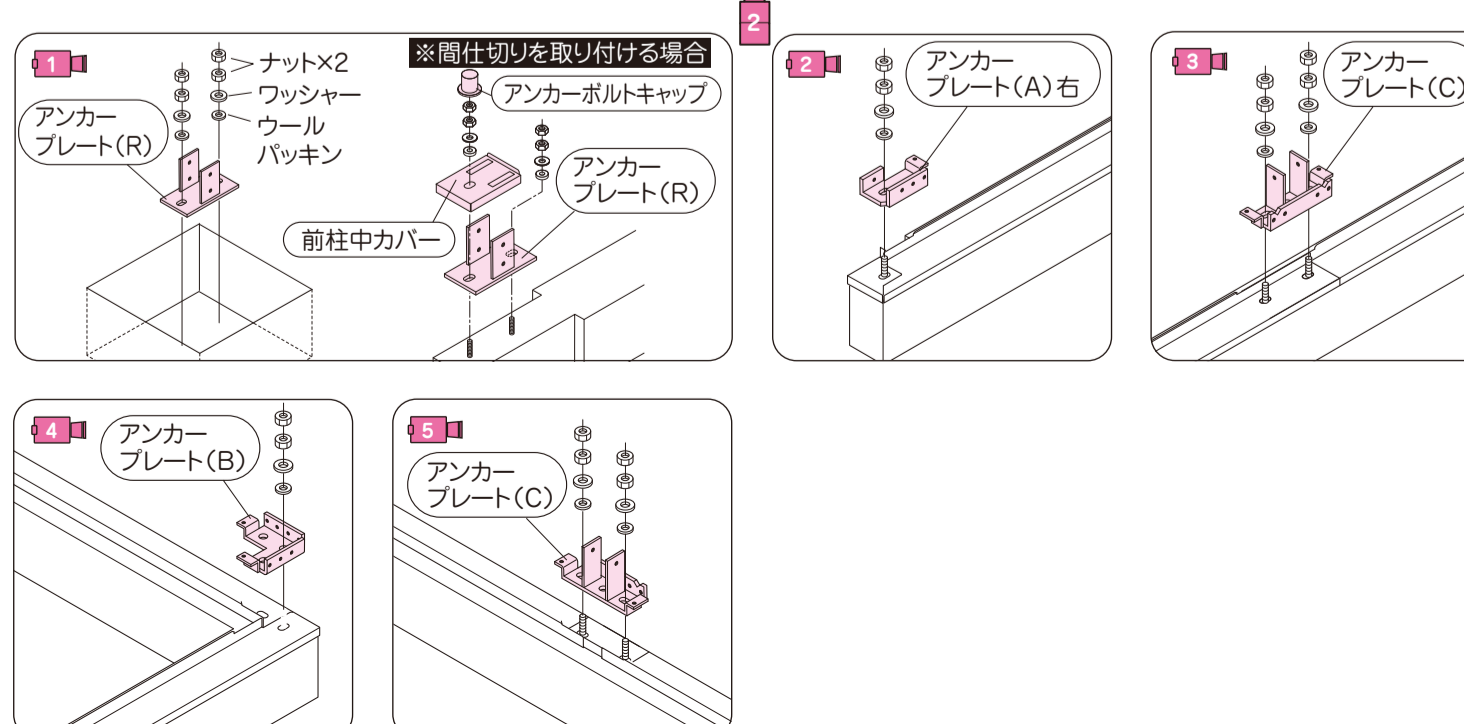
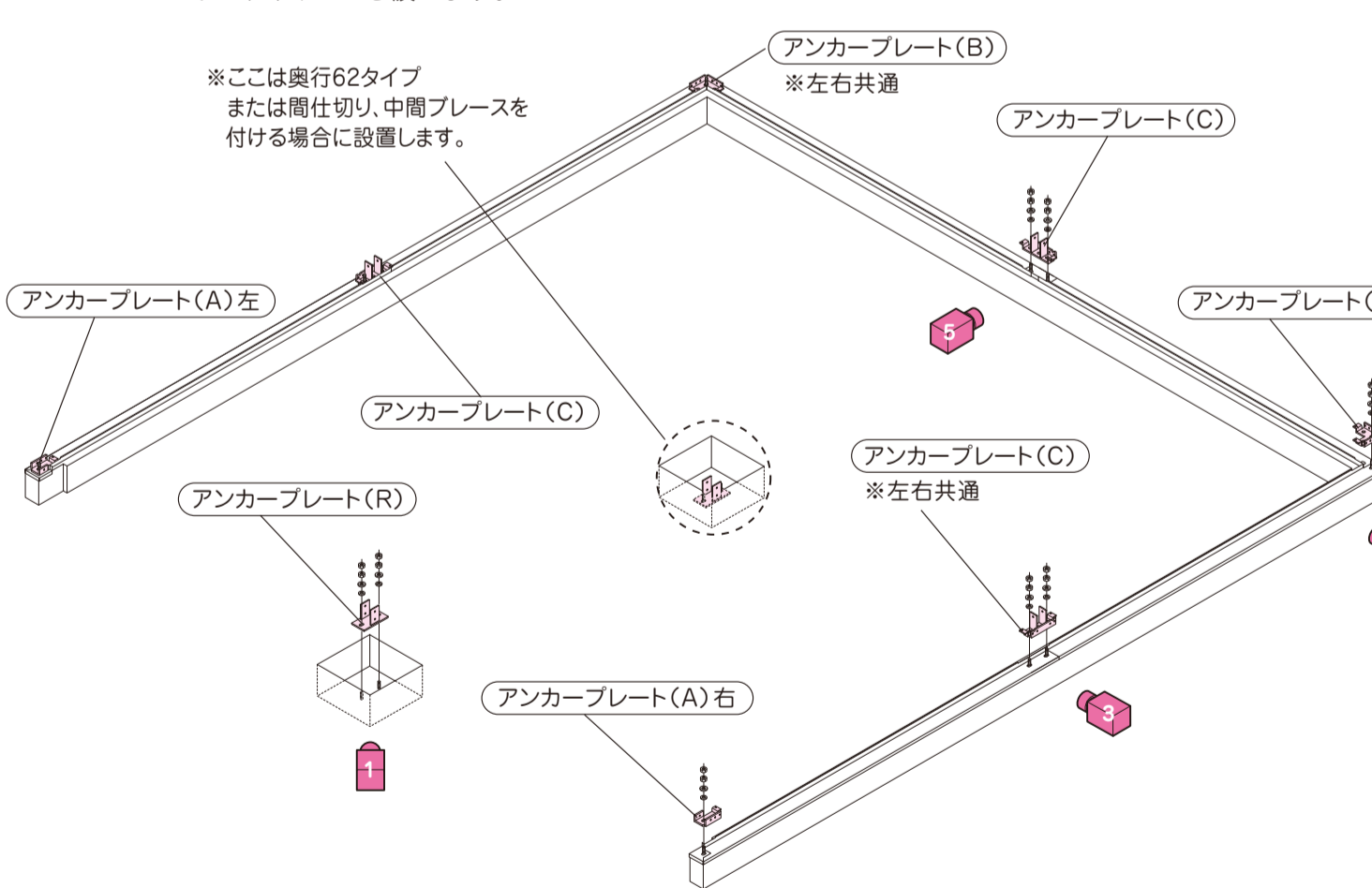
注意 コーキングが不十分だと雨水等が庫内に浸入しますのでしっかりと塗布してください。



アンカーボルト部分のコーキングは孔が完全にふさがるように塗布してください。

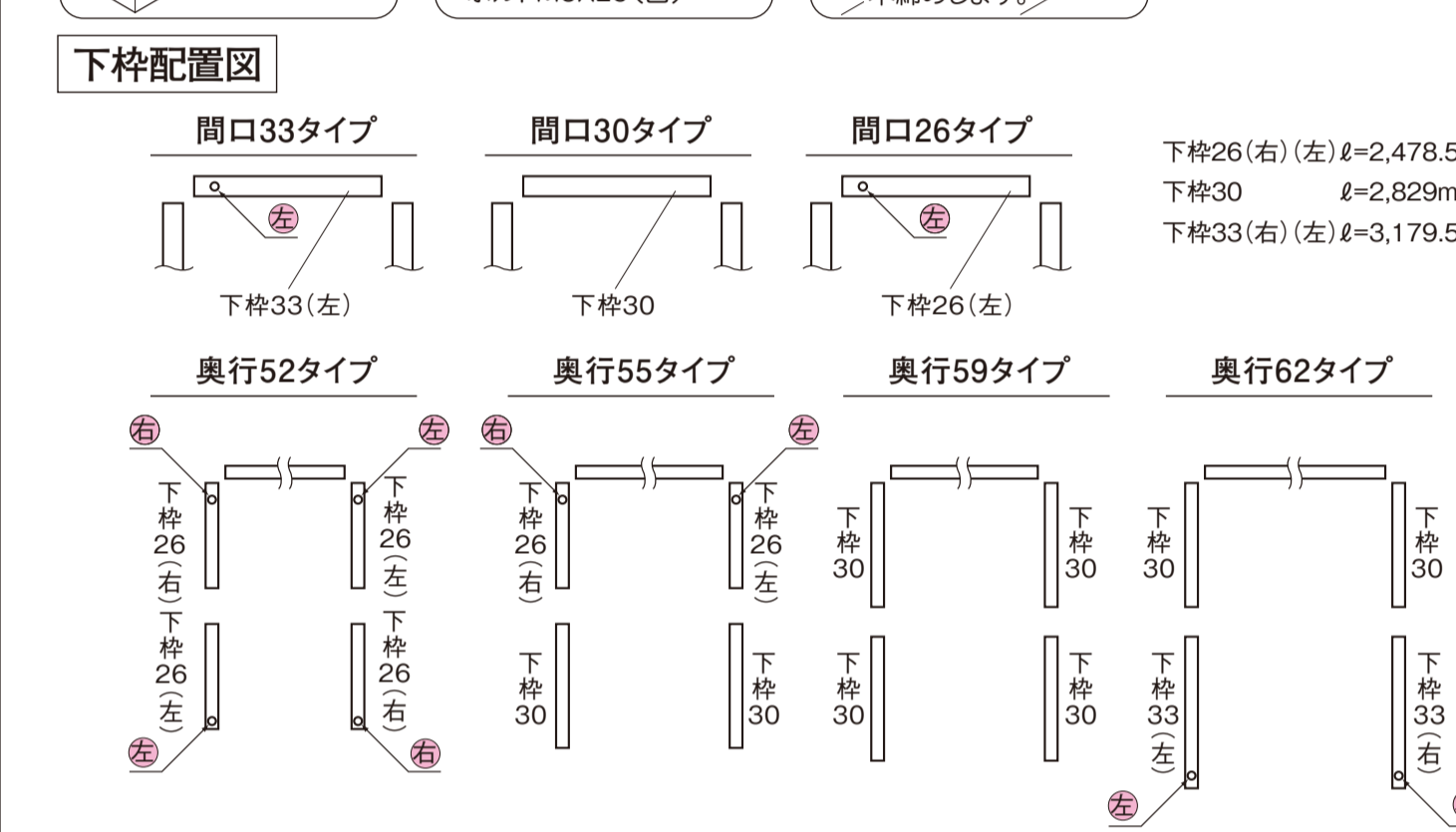
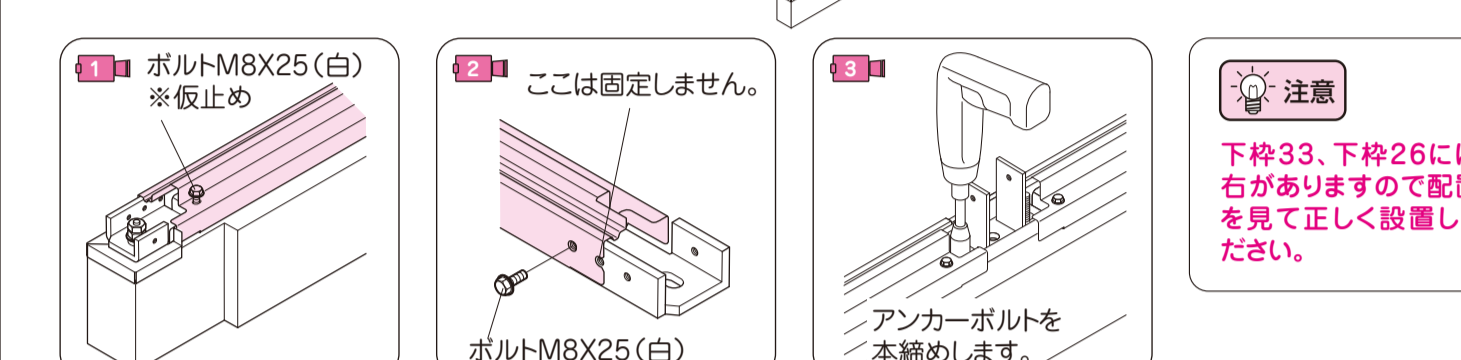
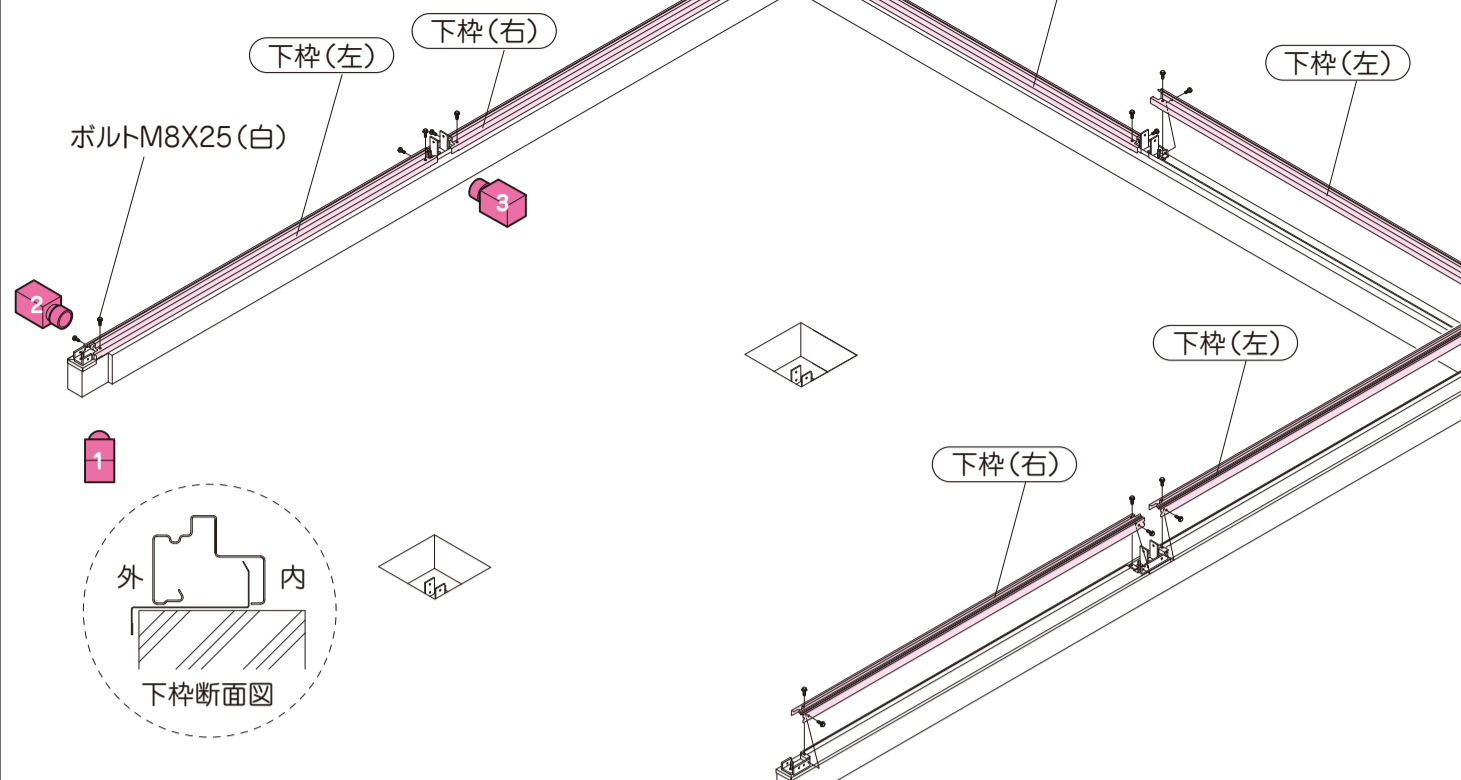
2 アンカープレートの取付け

- ① アンカープレート(アンカープレート)をアンカーボルトに仮止めします。 ※本締めは下枠設置後に行います。 ※奥行き62タイプの梁補助柱用の(アンカープレート(R))は梁補助柱梱包に入っています。
- ② オプション間仕切りを取り付ける場合は(前柱中カバー)を(アンカープレート(R))に設置して固定し、アンカーボルトキャップを被せます。



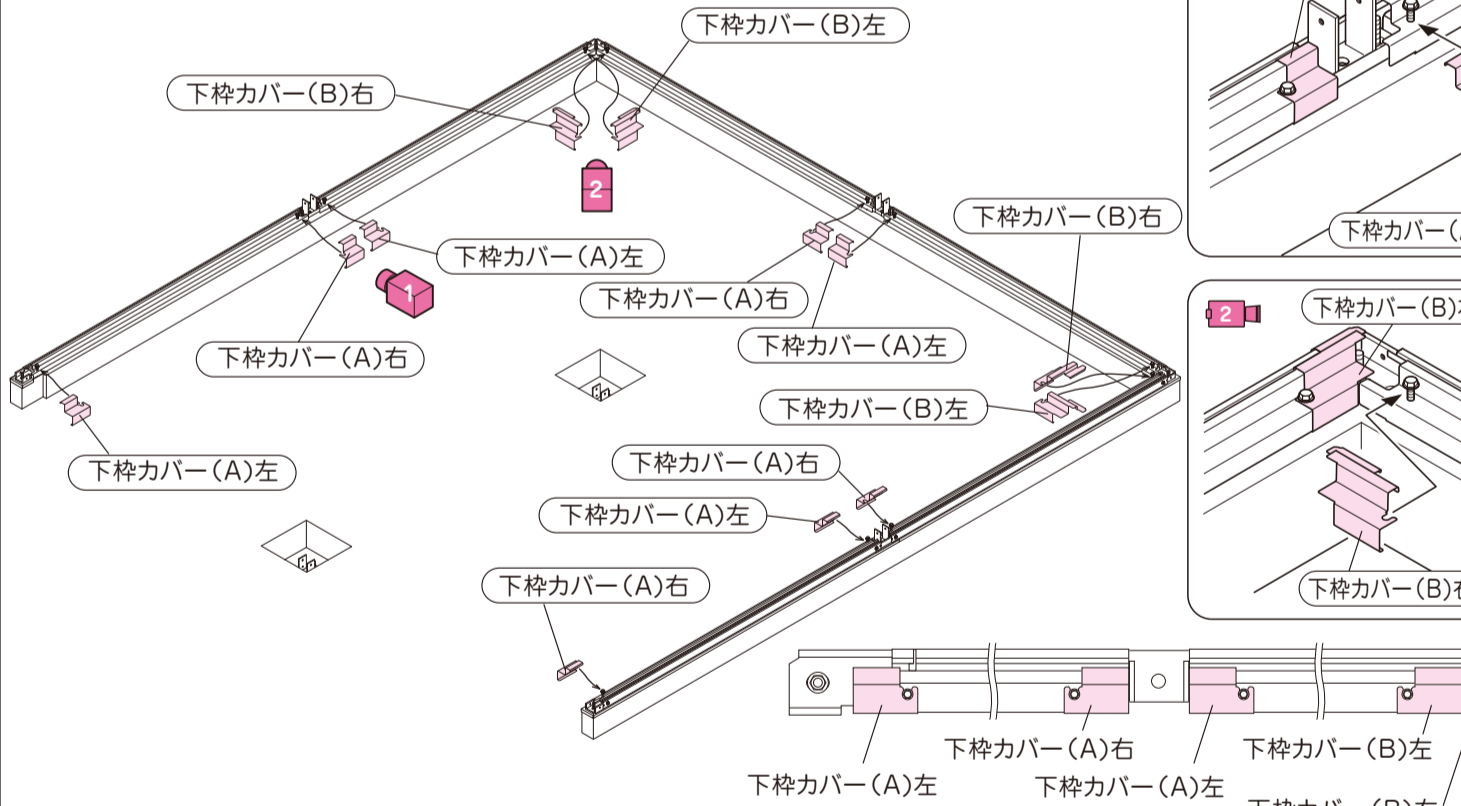
3 下枠の取付け

- ① 下枠を下下の配置図に従って配置しアンカープレートに固定します。下枠上面のボルトは仮止めします。
- ② アンカーボルトを本締めします。



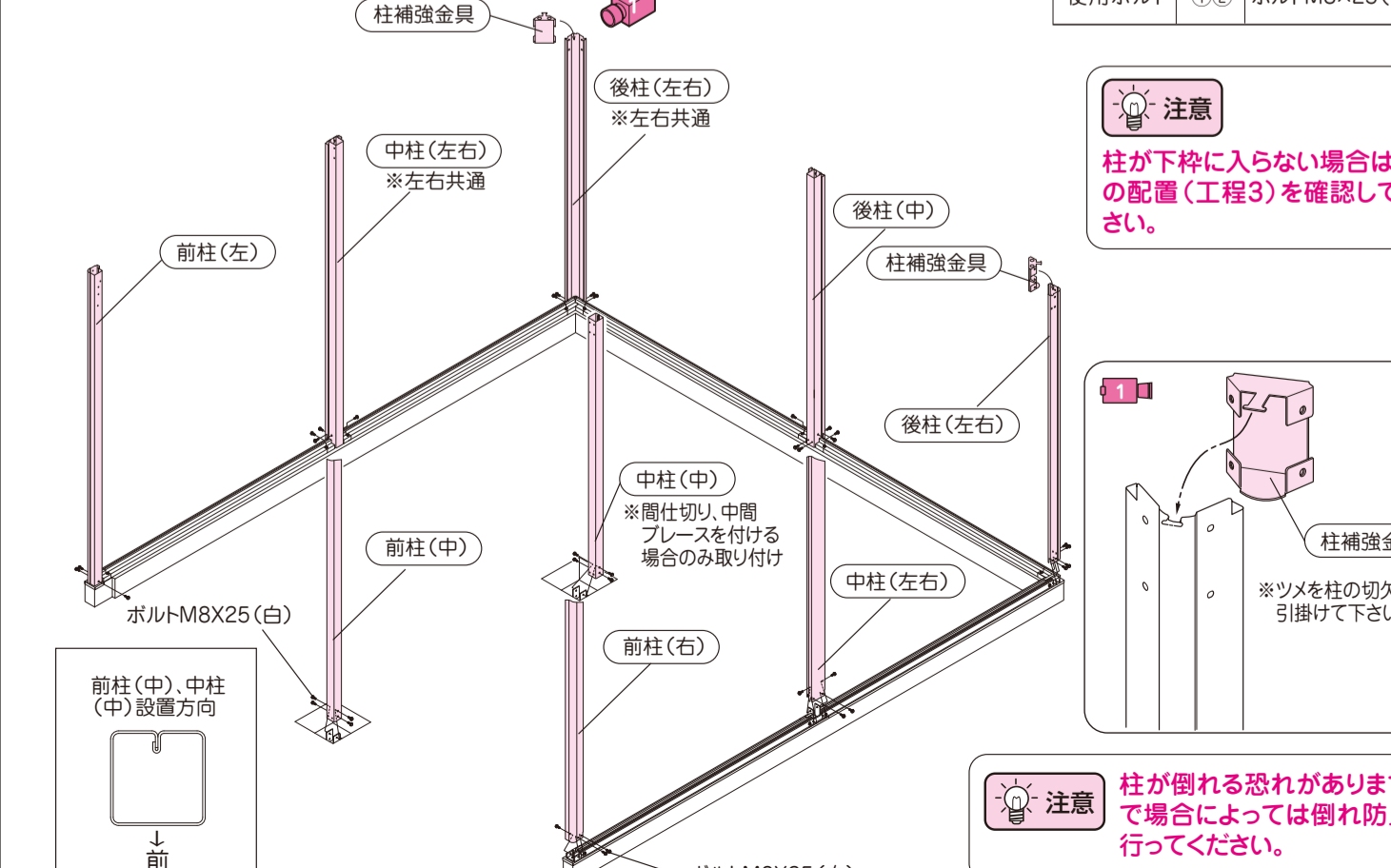
4 下枠カバーの取付け

- ① 下枠カバーを下枠に取り付けます。
- ② 仮止めしたボルトを締め付けて固定します。



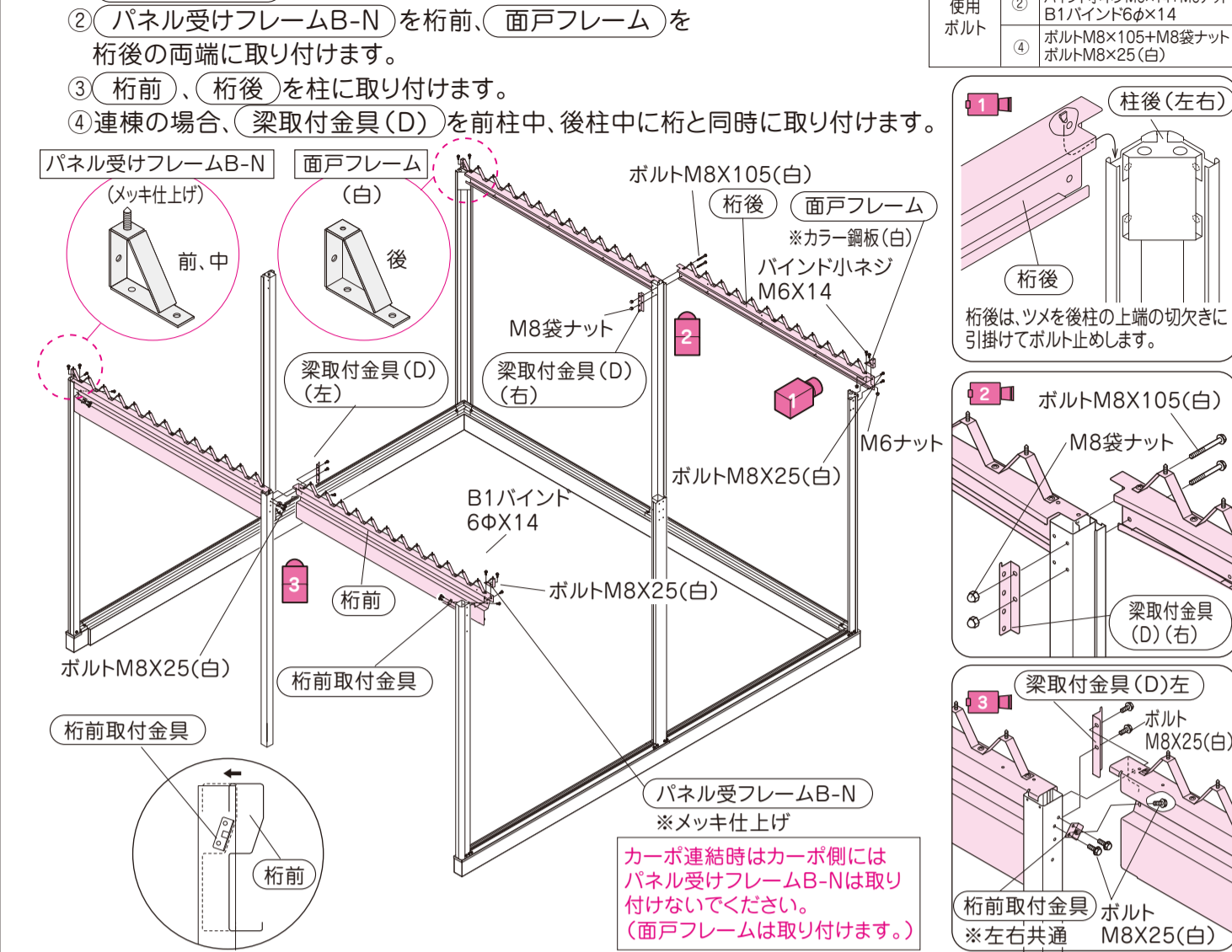
5 柱の取付け

- ① 柱をアンカープレートに取り付けます。
- ② 柱補強金具を後柱(左右)に取り付けます。



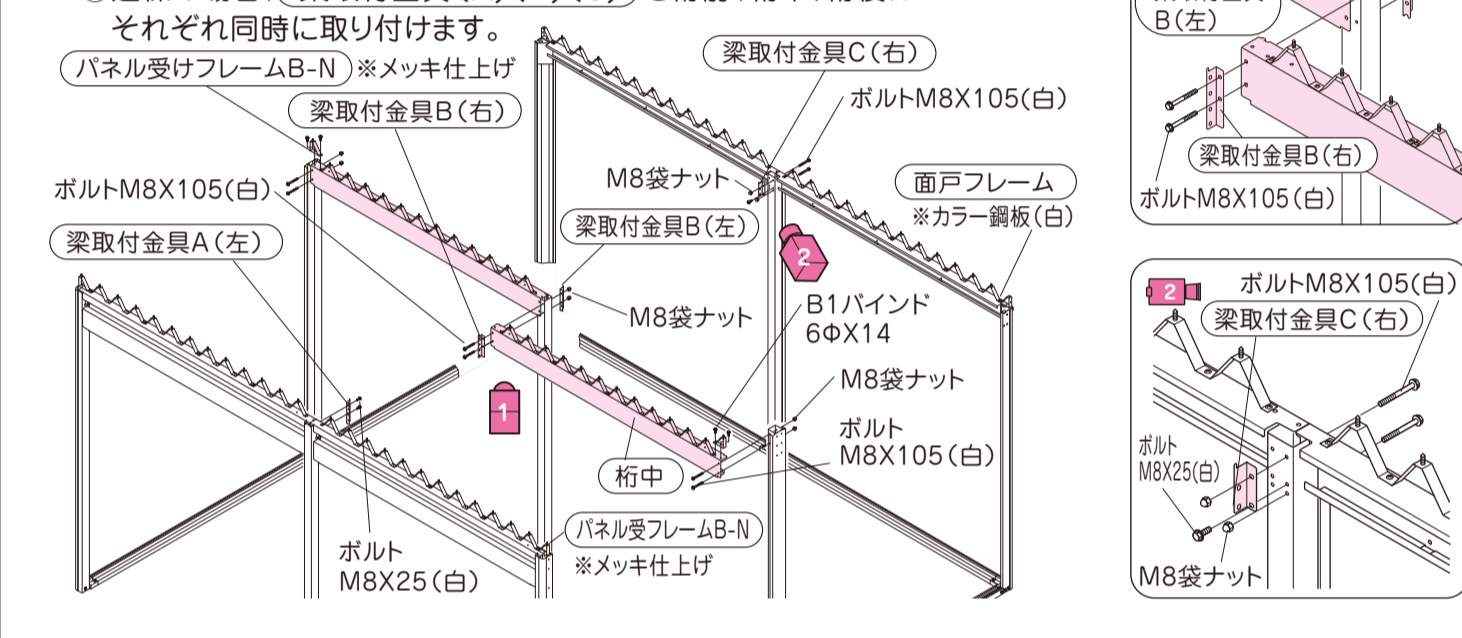
6 桁の取付け

- ① 桁前取付金具を柱に取り付けます。(金具に左右はありません)
- ② (パネル受けフレームB-N)を桁前(面戸フレーム)を桁後の両端に取り付けます。
- ③ 桁前(桁後)を柱に取り付けます。
- ④ 連続の場合、(梁取付金具(D))を前柱中、後柱中に桁と同時に取り付けます。



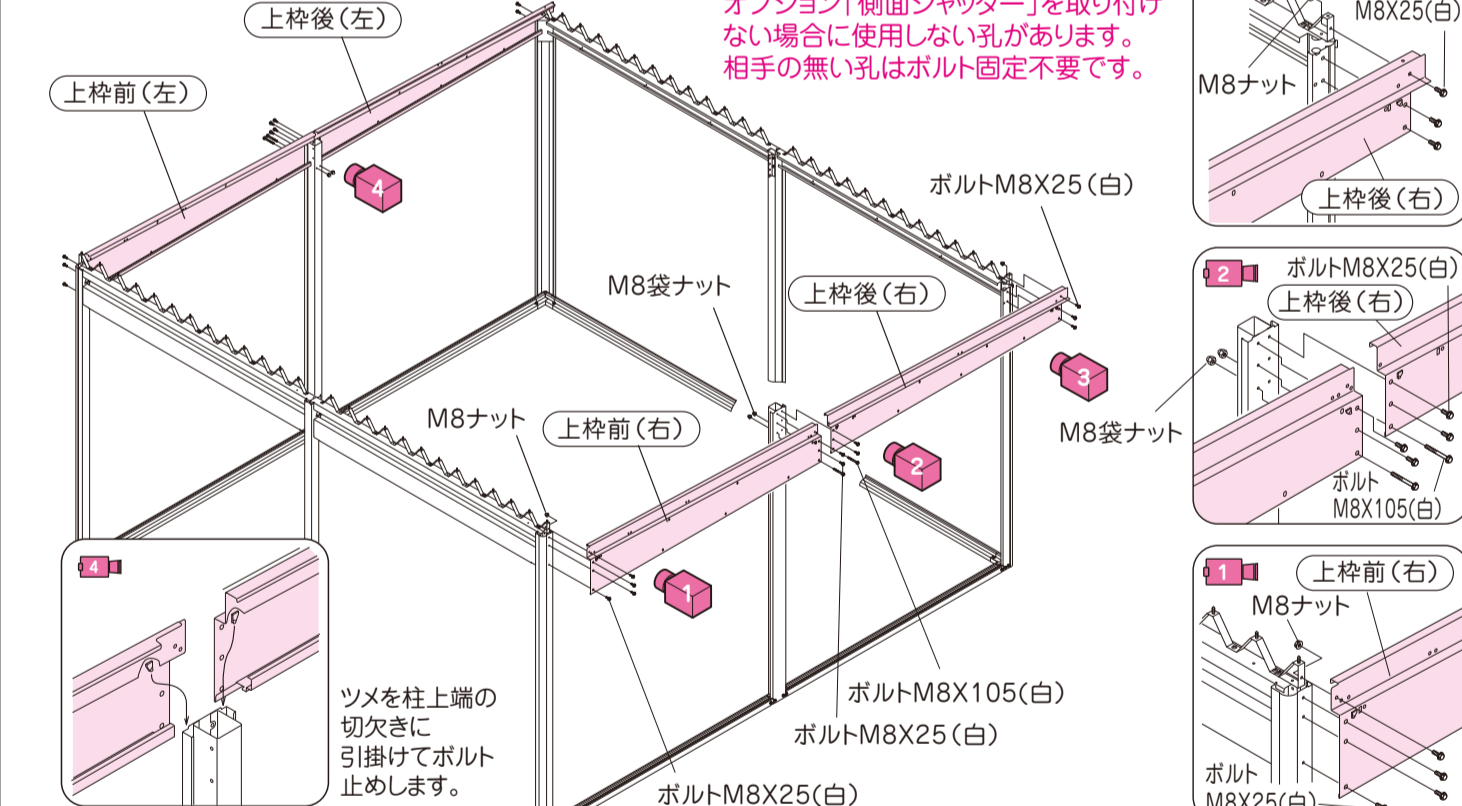
7 桁中の取り付け(単棟・間仕切り・中間ブレース付きの場合)

- ① パネル受けフレームB-Nを桁中の両端に取り付けます。
- ② (桁中)を中柱に取り付けます。
- ③ 連続の場合、(梁取付金具(A)(B)(C))を桁前、桁中、桁後にそれぞれ同時に取り付けます。



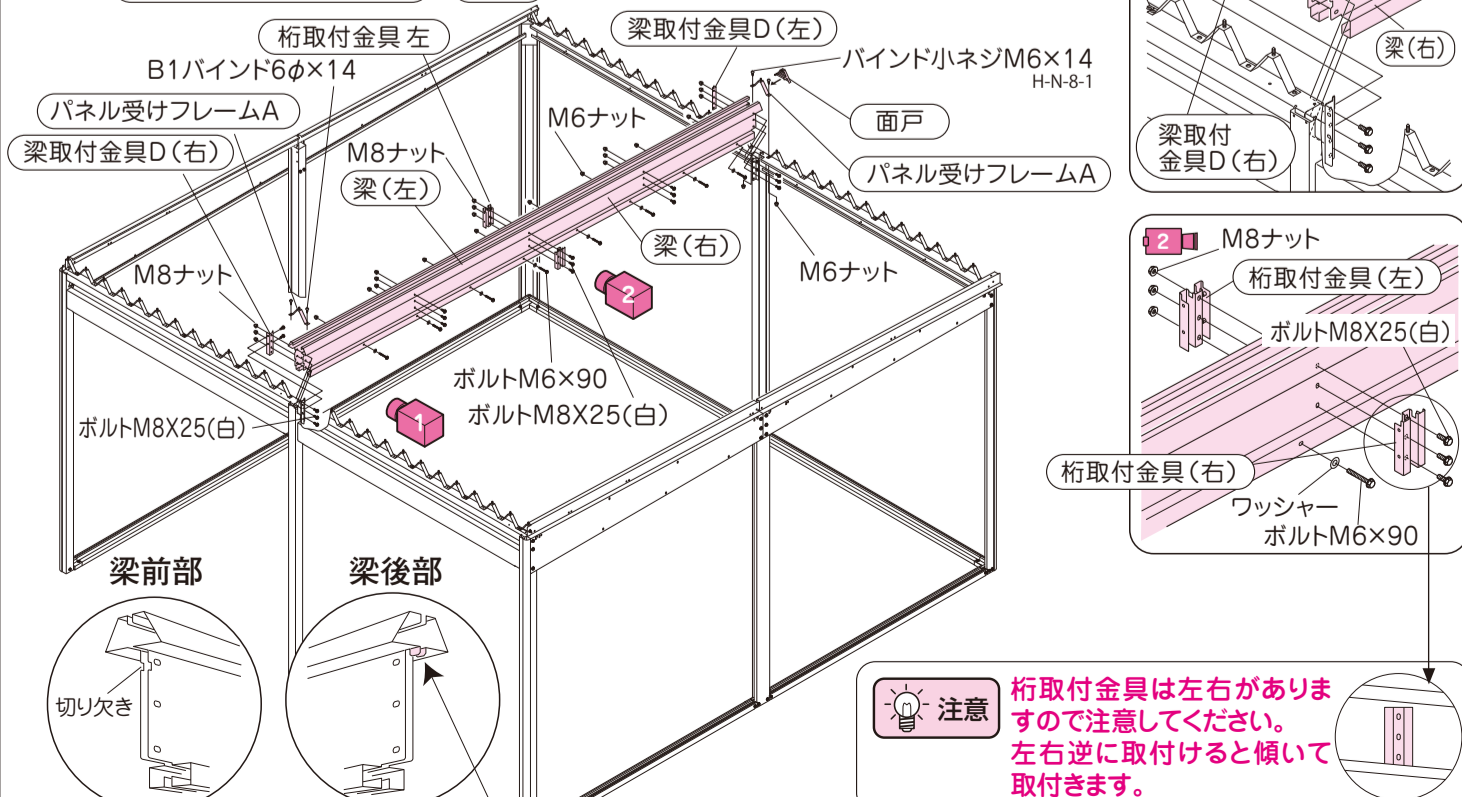
8 上枠の取付け

- ① 上枠前(上枠後)を柱に取り付けます。



9-1 梁の取付け(1本梁の場合)

- ① 梁取付金具(D)が正面から右側のみ取り付けられていることを確認します。
- ② (梁)を(右)→(左)の順番で柱に載せます。
- ③ (梁取付金具(D))を柱に取り付けて(梁)と固定します。
- ④ (桁取付金具左・右)を梁に取り付けます。
- ⑤ (梁)同士をボルト、ナットで固定します。
- ⑥ (パネル受けフレームA)・(面戸)を桁前・後の連結部に取り付けます。



9-2 梁の取付け (間仕切り・中間ブレスを取付ける場合)

①(梁前)を前柱中・中柱中に取り付けます。
 ②(梁後)を中柱中・後柱中に取り付けます。
 ③パネル受けフレームA、面戸を桁前・桁中・桁後の連結部分に取り付けます。

10 桁中・梁補助柱の取付け (1本梁の場合)

①(桁中)を柱・梁に取り付けます。
 ②(パネル受けフレームA・B・N)をそれぞれ桁の連結部、端部に取り付けます。
 ③奥行き62タイプのみ(梁補助柱)を梁の下に取り付けます。

11 間柱の取付け

注) 強風地向け補強材を取り付ける場合、上枠補強材を先に上枠に載せて間柱と一緒に固定してください。 ※間柱は専用間柱になります。(板厚 1.6mm)

①(間柱側)を側面の下枠、上枠左右に取り付けます。
 ②(間柱後)を後面の下枠、桁後に取り付けます。

12 壁パネルの取付け

注) 引戸、補助ドア、サッシ窓のある場合は壁パネルの取付けと同時に行ってください。

①(壁パネル)を室内からはめ込み柱、間柱に取り付けます。

13 ブレスの取付け

①(ブレス)を桁に取り付けます。
 ※調整は屋根を載せた後にします。
 (先に調整すると屋根が入らなくなる可能性があります。)

14 屋根の設置、建付け調整

①(ソフテープ(白))を桁後のタイトフレームに沿って貼り付けます。
 ②(屋根後)を向かって左から載せていきます。
 ③(防水パッキン(黒))を屋根後の前側に貼り付けコーキングを施します。
 ④(屋根前)を向かって左から載せていきます。
 ⑤ブレスのターンバックルを回して本体の建付け調整を行います。

15 屋根の固定

①(屋根)の両端部を残し屋根をタイトフレームに固定し、(剣先ボルトキャップ)を嵌めます。
 ②(屋根)の流れ方向の重ね部を固定し(ルーフトドリルビスキャップ)を屋根裏からかぶせます。
 ③(水上面戸)を水上側に取付けコーキングを施します。

16 ケラバの取付け

①(ケラバ接続金具)をケラバ前に取り付けます。
 ②(ケラバ前)・(ケラバ後)を上枠に取り付けます。
 ③扉内から(ケラバ)を固定します。(3ヶ所は(屋根止結金具)を用いてボルト固定します。)
 ④ケラバ上面を屋根に固定します。

17 鼻隠し前の取付け

①※連棟の場合、(鼻隠し前接続金具)を前柱中に取り付けます。
 ②(鼻隠し前)を屋根、ケラバコーナー樹脂に取り付けます。
 ③(桁前カバー)を桁前、鼻隠し前に取り付けます。
 ④(換気栓)を桁前カバーに取り付けます。

18 鼻隠し後の取付け

①※連棟の場合 (鼻隠し後補強金具)を桁後に取り付けます。
 ②(鼻隠し後)を屋根に取り付けます。
 ③(鼻隠しコーナー樹脂(後))を鼻隠し後、ケラバに取り付けます。
 ④※連棟の場合 連結部は(鼻隠し後接続金具)・(鼻隠し後補強金具)に取り付けます。

19 シャッターブラケットの取付け

①(ブラケット)を柱、桁前に取り付けます。

20 シャッターシャフトの取付け

①(シャフト)をブラケットに取り付けます。(左右のラベルが室内側に向くようにして取り付けてください。)
 ②(スラット)をブラケットのガイドに通します。

21 スラットの吊りこみ

①(スラット)を差し込みガイドを使って順次差し込みます。
 ②継ぎ目をカシメます。(両端カシメてください。)
 ③柱の建ちを確認します。

22 シャフト固定ピンの抜き取り

①シャフトの両端にある固定ピンを抜き取りします。
 ②スラットを巻き上げます。
 ③ガイド部分の保護材を横に引き抜いて取り外してください。

23 レールの取り付け

①(レール)を前柱に取り付けます。
 ②両サイドの柱には、中央3ヶ所に(レール補強金具)を取付けます。
 ③連結部は下部に(レールカバー)を取付けます。
 ④基礎部分にコーキングを塗布します。

24 完成

最後に、ボルトのゆるみがなくどうかもう一度確認し、前柱(中)、中柱(中)部分にコンクリートを流し込んでください。テックス等の切粉は必ず取り除いてください。下図の位置に銘板を貼付けてください。鍵は錠の裏側にあります。お客様にお渡しください。本書と取扱説明書はお客様にお渡しください。